

北海道:高校生が道議会議員へ紹介議員の要請へ 北海道:高校生の活躍 その2

北海道では、道議会向け請願署名の道議会議長提出を高校生が行っていることは、知られているところです。14号でお伝えしたその北海道の高校生の今年度の活躍の様子が「北海道私学助成をすすめる会」から届きました。その第2弾をお伝えします。

紹介議員依頼を行いました。

10月25日、11月30日に行われる道議会議長宛提出の私学助成請願署名提出の紹介議員依頼のため、北星女子高授業料安定委員3役と菊地教諭、すすめる会本間で北海道議会議員会館へ伺いました。共産党議員が会議で急に不在となったため、党事務局長小泉氏、事務局員の竹中氏とお会いし、紹介議員への受諾お願いと、生徒から「道単独部分の経常費補助が毎年削減されていることへの改善願い、大学進学の際の選択が大変な事情、公私間・自治体間格差が起こっている現状を打破してほしい」について尽力して頂くようお願いしました。



次いで、お約束頂いていた民主党の梶谷議員とお会いして、今困っていることをえ、直接知事に「経常費の北海道単独部分が毎年削減されているが、これを改善増額して欲しい」というお願いをしたのでどのようにすればいいのか、お尋ねしました。



梶谷議員は「知事は会ってくれますので、お手伝いしましょう」と言ってくださり、11月上旬に知事を訪問することになりました。



また、偶然、サハリン州の議員団が訪問していて、会議場にいるということで、議員でも立てない場所で撮影をする事ができました。(左写真。「北海道議会議長」になりました!)

公明党議員へは、党事務所に預かって頂き、自民党議員へは先日すすめる会から郵送いたしました。

今年の紹介議員数は、去年の41名を超えられる事を期待しましょう。

高橋知事との面談

北星女子高授業料安定委員が中心となり「経常費補助の北海道単独部分削減是正のお願い。」を行います。11月上旬に予定しています。是非各校から参加をお願い致します。生徒、教員で知事面談要請に行きましょう。

(参加できない高校はメッセージを託しましょう)

北海道では、すすめる会の「スタート集会・学習会」には高校生が多数参加します。その中で、経済的な理由で学校を退学せざるを得ない仲間がでないような私学助成制度を、と高校生が自分たちの問題として私学助成署名運動にとりこんでいます。またすすめる会の保護者のみなさん、教職員のみなさんが、その活動を支えています。

道議会への提出に向けて、紹介議員を獲得する要請行動にも高校生が参加して奮闘しています。

14号に掲載した、北星学園女子高校の街頭署名の取り組みも、直前の北海道胆振東地震の影響で中止となった処を、「授業料安定委員会」が学校と日を変えての再行動の認可を交渉し、「学校行事としてでなく、有志によるものなら認める」という許可をとっての行動でした。

私学助成・授業料減免制度拡充への高校生の「想い」の強さが表れています。